

2007年4月9日

特殊塩化ビニル樹脂の生産能力増強について

新第一塩ビ株式会社

新第一塩ビ株式会社（本社：東京都港区、社長：前田宣忠）は、高岡工場における特殊塩化ビニルの生産停止に伴う愛媛工場の増強を正式に決定いたしました。愛媛工場の能力を現状から年産7,000T増強して年産34,000Tとします。2008年1月完工予定で、投資金額は出荷設備の整備などを含めて約12億円。

2005年10月に発表いたしましたように、出資会社である日本ゼオン株式会社との製造受委託契約を解消するとともに、2008年3月末をもって高岡工場での特殊塩化ビニル樹脂の生産を停止することで合意いたしております。これに伴い、高岡工場の閉鎖による設備能力の減少を補うための愛媛工場の規模につきまして検討を続けておりましたが、この度、愛媛工場の設備能力を現状より7,000T/年増強することが最適と考え今回正式に決定しました。今後は、千葉、徳山両工場と合わせて最適生産体制の構築を目指してまいります。

当社は、1995年7月にトクヤマ、日本ゼオン、住友化学の塩化ビニル樹脂事業を引継ぐ製販一体の統合会社として設立され、事業競争力強化の一環として生産体制の再構築を進めてまいりました。今回の特殊塩化ビニル樹脂の愛媛工場への集約により、2008年4月からはこれまでの4工場体制から千葉、徳山、愛媛の3工場体制となり、汎用塩化ビニル樹脂はトクヤマ・徳山製造所と住友化学・千葉工場へ、また特殊塩化ビニル樹脂は住友化学・愛媛工場へ製造委託することとなります。

当社は、これまでの合理化や最適生産体制構築により得られた競争力を維持し、今後とも継続的な事業基盤の強化を図っていく所存です。

以上

<ご参考>

新第一塩ビ株式会社

資本金：20億円

売上高：277億円（平成17年度）

株主構成：(株)トクヤマ 71% 日本ゼオン(株) 14.5% 住友化学(株) 14.5%

本件に関するお問い合わせ：新第一塩ビ(株) 企画本部長 中島雄一

TEL 03-3595-0721